

要望事項 (優先順位 4)

原発事故の際、バス移動可能な脱出ルート確保のための道路拡幅

要 旨

福井県大飯原発の事故発生を想定した訓練を毎年行ってきましたが、再稼働により、事故発生時、久多から脱出するルートにおいて、バス移動ができる道路拡幅が必須となりますので、拡幅工事を要望します。

回 答**(行財政局)**

原子力災害時に避難及び一時移転する場合、自家用車の使用やUPZ付近にある公用車両の活用等の方法により避難等を行うこととなります。その際の避難道路における狭隘箇所解消等については、本市として、整備に係る財源の拡充にとどまらず、新たな支援制度の創設を含めて、国に対して要望を行っているところです。

(建設局)

本市では、非常に厳しい財政状況の中、市民の皆様の安心・安全の確保や京都のまちの持続的な成長を支えるため、平成29年度から平成32年度の間における事業実施路線やその選定に係る考え方を、「今後の道路整備事業の進め方」として定め、通学路等における安全な歩行空間の確保や緊急輸送道路の通行機能の確保などに重点的に取り組んでおります。

しかしながら、府道久多広河原線を含む左京区北部山間部地域の道路は、急カーブや離合困難箇所等、通行困難な箇所も多くあることから、平成30年度から見直し改善や待避所設置等の部分的な改良に着手をしたところです。大規模な道路改良は難しい状況ではありますが、来年度以降も、必要な予算の確保に努め、継続的に取り組んでまいりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。

(滋賀県大津土木事務所)

県道麻生古屋梅ノ木線の道路整備につきましては、大津市域において延長約500mの改良計画を策定し、用地調査を進めております。

しかし、当該地域は公図が乱れ、所有者の特定にも時間を要しているところです。地域の皆様の御協力も得ながら取得可能となった部分から用地取得を行っていきたいと考えております。